

# 指導資料

鹿児島県総合教育センター

## 英語 第56号

- 中, 高等学校対象

平成13年7月発行

### コンピュータを活用した英語科の学習指導の工夫

21世紀を迎え、国際化、情報化が一層進展する中で、生徒たちが直接外国人と交流したり、コンピュータを使って学習したりする機会が増えており、英語によるコミュニケーション能力や情報活用能力がますます求められるようになってきている。

このような中で、2001年度中にすべての公立学校がインターネットに接続できるようになり、2005年度までに、各学校の授業においてコンピュータを活用できるよう環境が整備されることになっている。

英語科においても、コンピュータや情報通信ネットワークを活用した学習に対する関心が高まっており、すでにこれらは様々な形で利用され始めている。

そこで、生徒たちが情報収集、表現、交流などの活動を通して主体的に楽しく学習しながら実践的コミュニケーション能力等を伸ばすことができるよう、コンピュータや情報通信ネットワークの特性を生かした英語科の学習指導の工夫について述べる。

#### 1 英語科におけるコンピュータ活用の意義

新しい学習指導要領では、各教科等におけるコンピュータや情報通信ネットワーク

などの情報手段を積極的に活用した学習指導の充実が求められており、英語科においても、こうした学習に積極的に取り組む必要がある。

英語科におけるコンピュータ活用の意義としては、次のようなことが挙げられる。

(1) 実践的コミュニケーション能力の育成  
教材ソフトやインターネットを使った学習を通して、ねらいとする語彙や表現、文法事項等、基礎的・基本的な事項の定着を図る中で「聞く」「話す」「読む」「書く」といった技能を高め、英語による実践的コミュニケーション能力を育成することができる。

#### (2) 国際理解教育の推進

電子メール交換など手軽な手段による国際交流を通して、異なる言語や文化、また、日本語や日本の文化などについて学び、国際感覚や国際協調の精神を養い、国際理解を深めることができる。

#### (3) 学習意欲や学習技能の向上

文字、映像、音声などの多様なメディアを使って、本物の生きた英語に触れながら楽しく学習する実践的・体験的な学習を通して、生徒の英語学習に対する興味・関心

を高めることができる。

また、インターネットなどを活用した問題解決的な学習を通して、調べ方やまとめ方、発表の仕方などの学習技能、さらに、思考力、判断力等を養う中で生きる力を身に付けさせ、生涯学習の基礎を培うことができる。

このほか、コンピュータによる効率的な教材作成・教材提示も可能であるが、その際、教材の共同開発や共有化など教師の協力体制づくりをすることにより、学習指導の効率化を図ることができる。

## 2 英語学習におけるコンピュータやインターネットの活用の工夫

英語科におけるコンピュータ等の活用方法は多様であるが、ここでは、教材ソフト、インターネット及び電子メールを活用した学習指導の例を示す。

### (1) 教材ソフトを活用した学習

CD-ROM等の教材ソフトを使うと、生徒の興味・関心、能力等に応じて学習プログラムを選択して各自のペースで行う個別学習やグループ学習が可能であり、学習の個別化を図ることができる。

基礎・基本の定着の観点からは、例えば、教科書教材の音声の聞き取りの後、音声に合わせて発音練習をしたり、発音された単語のスペルや文章を入力することで英語の音声に慣れ親しむとともに、音声と文字との関連を学びながら語彙力や作文力を養うことができる。

このほか、分量のある英文を限られた時間内で読むことで速読力を鍛えるなど

4 技能の有機的な関連を図りながら基礎・基本の定着を図ることができる。

### (2) インターネットを活用した学習

インターネットを利用して教材に関する調べ学習をすることで、英語学習への動機付けを図ることができる。

例えば、オーストラリアの動物や先住民のアボリジニの文化などが教材に出てきた場合、ウェブサイト([www.aaa.com.au](http://www.aaa.com.au))でこれらについて調べさせるだけでなく、文化や歴史などオーストラリアに関連する様々な情報を検索する調べ学習により、学習活動を活性化できる。

次は、英語圏の国々に関して調べる際、役に立つウェブサイトの例である。

USA	<a href="http://www.us-japan.org">www.us-japan.org</a>
CANADA	<a href="http://www.canada.gc.ca">www.canada.gc.ca</a>
UK	<a href="http://www.visitbritain.com/">www.visitbritain.com/</a>
IRELAND	<a href="http://www.ireland-information.com/">www.ireland-information.com/</a>
NEW ZEALAND	<a href="http://www.govt.nz">www.govt.nz</a>

また、インターネットを使うと、実際の言語使用体験を通して実践的コミュニケーション能力を育成できる。

例えば、インターネットで学習教材に関する情報検索をする活動を通して、英文の概要だけを素早く拾い読みするスキミングや、必要な特定の情報だけを拾い読みするスキニングの技法を身に付けさせたり、インターネットの音声ファイルを利用し、ニュース、スピーチ、朗読、音楽など生きた英語を聞くことで、聴解力を高めたりすることもできる。

さらに、学校のホームページを作成し、英語による学校案内や生徒たちの意見、ま

た、生徒たちが創作した英語俳句や英字新聞等の作品を発表するなど、自ら積極的に意見や情報を発信するという明確な学習目標をもたせ、生徒の学習意欲を喚起するとともに発展的・創造的な学習指導を進めていきたい。

写真（コンピュータを利用した学習風景）

### (3) 電子メールを活用した学習

電子メールを使って実際に英語で相手と交流することにより、英語の語彙・表現等を学ぶとともに多様なものの見方や考え方などを学び視野を広げる中で異文化理解を深めることができる。

また、単に教科書から受け身的に学ぶだけでなく、学習した英語を使って様々な情報や自分の考えなどを文字や音声で広く世界に向けて自ら発信することにより既習事項の定着を図るとともに、主体的な学習態度を育てることができる。

その際、ALT等の紹介で keypal(電子メールによる文通相手)を見付け継続的なメール交換が行えれば、明確な目的意識をもって英文を頻繁に書くことになり、書く力を一層伸ばすことができる。

## 3 コンピュータ利用に際しての留意事項

コンピュータやインターネットを利用す

る際は、その特性を生かすとともに影の部分にも考慮して生徒を指導すべきである。

次に、指導に際しての留意事項を述べる。英語の学習指導の観点から

学習のねらいを明確にし、そのねらいに応じた機器の効果的な活用を図る。

コンピュータ等を利用した学習活動を英語科の年間指導計画に位置付けるとともに、他の教育機器との関連を図りながらその特性を生かした利用の促進を図る。

他教科の教師との連携を図りながら生徒の情報活用能力の育成ができるよう、学校全体の指導体制を確立する。

百科事典ソフト、辞書ソフト、教科書準拠ソフトなど多様な教材ソフトから、目的に応じた教材ソフトの活用を図る。

コンピュータに記録された生徒たちの学習過程を生かした形成的評価や、作文や作品など生徒たちの学習成果を考慮した多面的な評価など、コンピュータの特性を生かした評価方法の工夫を図る。

情報モラル育成の観点から

コンピュータのOSやソフト教材等著作権に配慮する。

プライバシーなど人権に配慮する。

有害情報の除去に努めるとともに、モニターしながら、適切な学習が行われるよう生徒を指導支援する。

教師の自己研鑽<sup>けんざん</sup>の観点から

教師自身、機器操作能力・情報活用能力を高める。

インターネット等を利用して教材や指導法など英語教育に関する情報収集や他の教師との情報交換などに努める。

4 コンピュータやインターネットを活用した英語学習の進め方

ここでは、インターネットやコンピュータを活用して基礎的・基本的事項の定着とともに実践的コミュニケーション能力の育成を目指した学習指導の構想例を示す。

(1) 教材

SUNSHINE ENGLISH COURSE 2  
Program 3 "Interesting Things and Places in Australia"

(2) 目標

ア インターネットによる教材についての調べ学習を通して、生徒の学習意欲の喚起を図る。

イ コンピュータを活用した ALT との協同授業を通して、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに国際理解を深める。

ウ 教材ソフトによる自己学習を取り入れるなど個に応じた指導を充実させ、生徒の主体的な学習態度を養う。

(3) プログラムの指導計画

時	学 習 内 容
1	スキーマの形成，新出語（句）の導入 課全体の読み取り，概要把握
2	オーストラリアに関する調べ学習 (インターネットを使ったグループ学習)
3	本文（オーストラリアの動物 § 1,2） (be going to, mustn't の用法)
4	本文（アボリジニの文化 § 3,4） (will, there is ~ の用法)
5	課全体の総復習(教科書準拠 CD-ROM を使った自己学習)
6	鹿児島島の英文ガイド作成(グループ)
7	鹿児島島の英文ガイド発表会

(4) 学習指導案 (7/7)

段階	主な学習活動	指導上の留意点
導入	ALT による 出身国の紹介	・英語の語彙や表現， 及び文化などに関して， 生徒の理解を助けたり， 確認したりする。
15分	インターネットを使った 調べ学習	・ALT の質問事項の解答が見付かるよう，機器操作と英語理解の両面から生徒を支援する。
展開	鹿児島島の英文ガイドの発表表 ・歴史 ・名所旧跡 ・食べ物 ・産業，特産品	・グループごとに，鹿児島島について調べたことをコンピュータを利用して英語で発表する。 ・発表後，ALT の質問に答える。
30分	生徒同士の英語での Q&A	・活発な質疑応答になるよう支援する。
5分	教師，ALT によるコメント	・ガイドの内容や英文について ALT と協力して指導助言する。
終末	英文ガイドの手直しの指示	・イラストや写真なども工夫したホームページ用の紹介文となるよう改善を促す。
5分	教師によるホームページ掲載の予告	・次回の授業で作品の確認をする。

(網掛けの部分は、コンピュータ等を活用した学習活動を示す。)

このように、教材に関する調べ学習、発展学習で創作した作品などの情報発信、また、世界の人々との交流学習などを通して、生徒の学習意欲を高めながら実践的コミュニケーション能力を育成するため、今後、コンピュータや情報通信ネットワークを活用した英語授業を積極的に進めていくことが望まれる。

【引用参考文献】

・文部省『中学校学習指導要領解説 総則編』  
平成 11 年 9 月  
・北尾謙治，北尾 S.キャスリーン著『英語教育のためのパソコンとインターネット』  
1997 年 洋販出版  
(第一研修室)

